



新築のお部屋が11月1日正式に引渡されました。

お部屋の名前は“わかば”現在の園舎が改築された折、今の5クラスが命名されましたが、実は6クラス目として“わかば”が候補にあがっていました。

すべてのクラス名は聖書により意味を持つ名前になっていることはご存知の通りです。にじ組の由来が、創世記6章～記されている「ノアの箱舟」の契約のしるしの“虹”ですが、今回“わかば”も「ノアの箱舟」の記述（創世記7章11節）の中より意味を見出しました。すべての地を飲み込んだ洪水の後、鳩が始めてくわえて来たオリーブの葉により、大地が再び命を生み出したことが分かりました。そしてノアたち家族は箱舟から下り、神様に感謝の礼拝を捧げたと聖書は記しています。そのことに因んで子どもたちが若葉のようにすくすくと葉を広げ、命を輝かせ伸びゆくことを願い“わかば”と名付けました。

既に、はと組から続くウッドデッキでお弁当を食べたり、年長児のウィビングやハンドベルコーナーなどで使ったりしていますが、今後在園児は勿論、未就園児や課外活動、父母の会での使用など多目的なスペースとして有効に使っていきたいと思います。

もうひとつご報告が遅れましたが、0歳児～2歳児の園庭開放デー「こすずめの会」が晴天の日限定で始まりました。恵まれた環境の中、こんなに伸び伸びと遊ぶ子ども達を通し、この園を理解していただくきっかけになることを願っています。お部屋には入りません。保護者の責任の下一時間ほど在園児の自由な遊びに混じって過ごしますが、お客様対応に長けている本園の子どもたちは、感心するくらい良い関わりをしてくれます。ルールを教えられたり、案内してくれたり、小さな子やお母さんたちをおもてなししつつも、いつもと変わらず遊び込んでいます。保育者も子どもたちの遊びの充実と安全に十分気をつけていきます。「こすずめの会」をどうぞご理解ください。ご不明なことお気付きのことがありましたらいつでもお声をかけてください。

今回のこどもニュースは運動会アンケート編です。今年も皆様のご協力の下、本園らしい運動会を行うことができました。アンケートへのご協力もいつもありがとうございます。

Noriko



## うんどうかいアンケートから

今回のこどもニュースは、【うんどうかいアンケート編】です。皆さまからいただいたアンケートから今年度の運動会を振り返り、また来年度へとつなげていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

☆アンケートから抜粋 ★幼稚園から

(年長)

☆運動会をととても楽しみにしていたようで「あと何日後に運動会だ!!」と毎日折り数えていました。早く走れる方法も一生懸命練習していました。年少、年中の時は運動会のことなんて、家で話したことがなかったので、こんなに気合いが入っているとは思いませんでした。走るのが苦手なのかと思い込んでいたので、娘がリレーで真剣に走る姿に感動しました。実はこっそり動画を何度も見ています(笑)

☆頑張る姿やお友達と笑い合う姿、どれもまぶしかったです。当日までの年長スペシャルに取り組む過程も、毎日くるくる側転の練習をしたり、できなくて悔しかったり、できるお友達をほめたり…と子どもの色々な感情を感じることができました。

☆“リレーで速く走れるようになりたい!”という思いから、毎日の遊びが変化していき、バトンを繋いで走りきれた時の達成感や、やればできるんだという自信に繋がったと思います。その成長が何より嬉しかったです。

☆係では、自分の仕事として責任を持ち、人の役に立てる喜びを知る良い経験をさせていただきました。

☆毎年恒例のリレーも勝ち負けにこだわりすぎず、仲間をたたえ合う姿に感動しました。小さい子達でもこんなに相手を思い合えることが、この3年間、良き仲間、先生方の関わりの賜なのかなと思いました。

☆運動会を通して得た色々な経験が、自信に繋がったり、友だちとの絆を深めた



り…残りの半年のこれからにどう繋がっていくのか本当に楽しみです。親子共に、残りの日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

★年長さんのあらゆる姿を見て心に響いた、感動されたというアンケートをたくさんいただきました。本当に年長さんがみんなの中心となって運動会を進めてくれました。運動会に向けての様々な取り組みの中で、友だちを励ましたり、認め合ったり、クラスを超えて幼稚園全体が一つになれた運動会だったのでと思います。年長さんの姿を見て年少、年中さんが刺激を受け、今後年長として担ってってくれるのだろうと思います。



### (年中)

☆去年は運動会をただただ楽しみにしていただけでしたが、今年は前日から「明日うまく走れるかわからないからどうしよう」「玉入れは勝てないかも」とナーバスになっている姿を見て、運動会を通して心の成長もみられました。

☆かけっこは、いつの間にあんなに競争心が芽生えたのかと思うくらい、必死に走っていました。

☆年少の時は初めての運動会で、周囲の様子を見ながら動いていた息子ですが、今年はなんだか自信を持って堂々と運動会に挑んでいる、そんな感じがしました。

☆玉入れの玉がなかなか入らないというので、家でカゴとボールを使い練習しており、その甲斐あってか運動会では3つも入り、みんなで喜び合いました。

☆玉入れの結果が引き分けだった時に、結果発表を聞いて応援席の子どもたちが、「引き分けでよかったよねー」と心から喜んでいて、なんだか温かい気持ちになりました。もちろん、競い合って高めていくことも素晴らしいことだと思いますし、こういう結果に喜べることも素敵だなと思いました。

☆年長さんが、自分の決めた係を責任持ってする姿に感動しました。子どもも「来年何をしたいか」など話し、「年長さんはかっこいい！いろんなことができる！」と希望を持っていて、こうやって次の年度に成長が繋がっていくんだなあと思いました。

★年中児には、苦手意識を持たず、身体を自分の思うように自由に動かして、友達と一緒に遊ぶことの楽しさ、心地よさを感じてほしいと思っています。その中で、少しずつ勝ち負けにも興味を持つことが、成長につながっていくと考えています。





運動会での年長児の姿に憧れの気持ちを持つことが、これからの年中児の育ちの力になることを願っています。

### (年少)

☆初めての運動会でした。整列している姿にさえ感激してしまい、娘の成長をたくさん見ることができました。

☆みんなと一緒に頑張っている姿、お友達と運動会を楽しんでいる姿が見られてすごく嬉しかったです。一つ一つ色々なことができるようになって成長している姿を見せてもらいました。やっぱり神さまがいつもいてくださり、守ってくださっているなあと改めて感じる事ができる良いときでした。

☆我が子は年少なので“よーいどん”と親子競技だけでしたが、初めての整列、入場やかけ足の姿、ちょこんと座って競技を見守っている姿など、年少さんならではの、かわいい姿も見られて嬉しかったです。

☆年長さんの姿には学ぶものが本当にたくさんあり、感心してばかりでした。年長さんになる頃には我が子が同じように動けるようになるのか心配が尽きませんが、年長さん年中さんのことをよく見て色々なことを感じとってほしいです。

☆競技中のフォローも年長さんが手際よく行動できていて（玉入れの時や玉を中央に寄せるなど）、日頃の園生活やお友達とのやりとりでこんなに自主性が育まれるんだな、と感心しました。

★年少から入園した子にとっては初めての運動会。子どもたち以上におうちの方もドキドキわくわくされたのではないのでしょうか。“よーいどん”ではかわいく返事をして真剣な表情で走って、メダルをもらって嬉しそうな年少さんでした。また親子競技では大好きなおうちの方と一緒にできることが何より嬉しかったのだと思います。

### (にじ)

☆園庭をうまく利用して面白い競技がたくさんあったと思いました。

☆小スペースの運動会ならではの、非常に良い運動会だったと思います。どの競技も近くで見ることができ、迫力がありました。

☆運動会の意味もわからない子たちばかりですが、毎日園で過ごす中で自然と身につき、かけっこと応援ダンスをすることができて感心しました。身についたこと



を発表することも大事ですが、応援グッズを作ったり、体の動かし方を学んだり、当日までのアプローチの仕方が素晴らしいと思いました。

☆座って応援をし、子どもたちが楽しんでいるのがとても伝わり、感動しました。

温かい優しい気持ちになれる運動会が大好きです。

☆応援タイムがすごく可愛くて、みんな入園時期がバラバラなのにまとまっていたのが感動でした。

★それぞれの年齢にあった競技をとっています。慣れた幼稚園の園庭で、大好きなおうちの方に見守られながら楽しんで走ることを大切にしました。

今年度初めての競技、応援タイムでは、子どもたちが嬉しそうに踊っていてとても可愛らしかったです。



### (親子競技)

☆最初から最後までみんなそれぞれ、のびのびと楽しそうに身体を動かしていたのが印象的で、特に親子競技では、パパやママと一緒に参加する嬉しさから、どの園児も笑顔でキラキラ輝いていました。

☆騎馬戦に参加し、すぐに帽子を取られて悔しい思いをしていましたが、今までにない競技だったので新鮮で、また悔しい思いをすることができたことはとてもよかったし、良い経験になったと思います。

☆私は初めて親子競技に参加したのですが、娘と手をつないで一緒に走れたことが、ただただ嬉しかったです。

☆騎馬戦に参加した主人が、「もっと作戦を練っておけばよかった!!」と悔やんでいました。親子で楽しめて、協力して1つになってできるのが毎年素敵だなと思っています。

☆親子競技では、本当に皆、子どもたちがニコニコしていて、たくさんの愛情の中で生活できている子たちばかりなのだと思感させられ、そのような環境に我が子、私たち親も一緒にいられることは幸せだと感じました。

★おうちの方と一緒に競技に参加することで、子どもたちは「たのしい」「うれしい」「くやしい」という気持ちを共有していたと思います。おうちの方に駆け寄り、とびきりの笑顔で隣りに並んで順番を待つ子どもたちの姿から、「大好き!!」という気持ちが伝わってきて、私たちも嬉しい気持ちになりました。



### (全体)

- ☆今年の運動会はお天気にも恵まれ、また何より一人もお休みすることなくみんなで元気に参加できたこと、とても嬉しく思います。
- ☆刺激を受けて自らチャレンジしてみようと思える機会があるのも、縦割り保育の良さなのだなあと感じました。
- ☆手作りしたもの（国旗や看板や年長さんのゼッケン、プレゼントなど）がたくさんあり、子どもたちがただ競技をするだけでなく、子どもたちが参加し、作り上げた運動会だと感じました。
- ☆直前の子どもニュースには、ねらいや過程などとても詳しく書かれていて、しっかり読んでから運動会に参加するとより楽しめて有り難かったです。
- ☆お昼前までというコンパクトなプログラムでしたが、競技進行のテンポも良く、とても充実していて良かったです。子どもも大人も無理なく参加できる運動会でした。
- ☆下の子が小さく準備など全くお手伝いができず心苦しいですが、みなさんが協力合っている運動会は温かさがあり、良いなあと感じました。

★誰ひとり欠けることなく、全員が健康を与えられ運動会に参加できたことが何より一番嬉しいことでした。神さまからのたくさんの恵みに感謝したいと思います。狭い園庭でなぜ行うかという意見もいただきましたが、確かに決して広くはない園庭ではありますが、日頃から遊び慣れたところで行うことで、子どもたちが自分の持っている力を十分に発揮できるのだと思います。運動会は大変な行事ではありますが、特別なものではなく、園生活のあそびの一部であると考えています。運動会の準備から片付けまで、おうちの方のご協力があって、今年もこの幼稚園ならではの温かい心のこもった運動会を行うことができました。本当にありがとうございました。アンケートにも様々なご意見を書いていただき、今後の参考にさせていただきたいと思います。みなさまお疲れさまでした。



(b)

{ AKI & Rina }